

「職業・家庭科」（作業学習〈木工〉）学習指導案

1. 日 時： 平成 27年 6月

2. 場 所： 木工室

3. 学部・学年・組 中学部 第3学年

4. 単 元 名 機械操作と道具を使用した作品づくり2
(カスタネット、なんでもラック、コースター)

5. 単元目標

- ・道具、材料確認シートを使用した道具の確認、選択作業ができる。
- ・確認作業シート使用し、安全に機械操作する方法がわかる。
- ・曲線を含んだ型取りができる。
- ・電動糸鋸盤を使用し、曲線を切り取ることができる。
- ・主体的に作業に取り組もうとする。

6. 生 徒 観 略

7. 教材観

木工の作業学習では、ノコギリや釘打ちなどの道具や電動糸ノコなどの機械操作をひとり、もしくは教員がサポートを行いながら進める。そして、作品づくりの過程において「材料が切断できた」「釘が打てた」などの事象が視覚的にも体験でき、わかるという自信やできたという達成感が得られやすい分野であり、木工の特性でもある。これまでの中学部の作業学習において、活動場所を決めて各班ごとの課題に取り組み、一定のルールを守り、作業を行う習慣と技術を身につけてきた。3年生では、道具と機械を使用した作品づくりを中心に、生徒が主体的に作業に参加できる教材・体制と、達成感が得られやすい作業内容を展開したい。

8. 指導観

木工の教科は、日頃、使い慣れない道具や機械を用いての作業になり、支援学校の生徒にとって長時間この作業に取り組むことは難しい。説明や作業、掃除など場面ごとにゆっくり過ぎたり、集中したりと気持ちの切り替えを行えるような授業の展開、進め方を行なっている。その他に、教員の支援の必要性レベルを3つのグループに分けて課題（目標）別の作業に取り組んでいる。

教材指導の工夫としては、失敗しても修正可能な作品づくりや、確認シートを導入し、機械操作のマニュアル化により多くの生徒が安全に機械操作をできるようにしていること、木型・型紙などの支援教具を使用して寸法を測らずとも作品が上手に作れるようにして、生徒がいかに主体的に取り組めるか、達成感が得られるかを考えた指導を行っていることがあげられる。授業形態は、TTを採用。主担が授業を展開し、全体の進行状況を確認しながら個々に応じた指導も行う。サブ（ST）は班ごとの指導やサポートを行い、生徒の実態に応じて、できる限り支援を最小化し子どもの力を発揮できるようにサポートする。また、作業中は必要に応じた言葉かけを行い、生徒の主体性や達成感を引き出せるよう配慮することを心がけたい。

9. 単元の評価規準

A 生活や技術への 関心・意欲・態度	B 生活を工夫し創造 する能力	C 生活の技能	D 生活や技術について の知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> ・教材、道具、機械操作に興味、関心を持っている。 ・出席確認に、返事や動作で応じている。 ・作業の予定、説明を定められた場所で聞いている（注目している） ・作業中は作業場所を離れず集中して取り組んでいる。 ・教員の説明や言葉かけで、作業を進めている。 ・掃除に参加している。 ・主体的に作業に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・確認シートを使用して道具の確認、選択作業をしている。（ひとりもしくは教員と） ・確認シートを使用して機械を手順通りに操作している。 ・挨拶、説明、作業（開始、終了）、掃除と場面ごとの切り替えをしている。 ・指示に従い、片付け掃除をしている。 ・ゴミのある場所を中心に掃除をしている。 ・友だちと協力して作業を行うことができる。 ・好きな色を選択している。 ・寸法にこだわった作品づくりをしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・型を使用し線を引いたり、印をつけたりすることができる。（ひとり、もしくは教員と） ・電動ボール盤を操作し、印をつけた個所に穴を空けることができる。（ひとりもしくは教員と） ・電動糸鋸盤を操作し線に沿って切ったり、刃を折らずに作業を行ったりすることができる。〔1、2班〕 ・機械を操作し、材料を加工することができる。精度は求めない。（ひとり、もしくは教員と）〔3班〕 ・機械操作をゆっくり行うことができる。 ・手道具を使い材料の加工、組み立て作業をすることができる（ひとり、もしくは教員と） ・塗装作業を行うことができる（ひとり、もしくは教員と） 	<ul style="list-style-type: none"> ・どのような作品づくりに取り組むのかを理解している。 ・作業に必要なものが揃っているか理解している。 ・機械の操作方法を理解している。 ・曲線の切り方を理解している。 ・道具の名前、使用方法を理解している。 ・作品の組立てや加工の工程を理解している。 ・作品のできあがりを理解している。 ・安全を意識している。

10. 単元の指導と評価の計画（全15時間）

次	時	学習内容	評価規準			
			生活や技術への 関心・意欲・態度	生活を工夫し創造 する能力	生活の技能	生活や技術につい ての知識・理解
第一 次	1	3年生の木工作品について 知る 道具の確認作業の方法を知 る 電動糸鋸盤の復習	○			○
	本時3 2～5	カスタネットづくり 道具の確認作業 電動糸鋸盤の操作 型取り、切り取り作業 カーブを切る ○を切る。 電動ボール盤の操作 塗装作業			○	○
第二 次	6～11	なんでもラックづくり 道具の確認作業 道具と機械を使用した作 品づくり 型取り作業 ノコギリと電動糸鋸盤を 用いての切り取り作業 キリと電動ボール盤を用 いての穴あけ作業 ベルトサンダーを使用した 削り作業 磨き、塗装、(仕上げ作業) 組立て（げんのうで釘を 打ちつけ接合）		○	○	
第三 次	12～15	コースターづくり 様々な型（フルーツ、海の 生き物、自動車）の型取り 作業 電動糸鋸盤での切り取り作 業 模様付け、塗装作業	○			○

11. 本時の展開

(1) 本時の目標

- ・主体的に作業に取り組めるようにする。
- ・道具・材料確認シートを用いた道具の確認、選択ができる。
- ・型を使用した曲線の型取りができる。
- ・電動糸鋸盤を使用して、丸やカーブなどを含んだ曲線切りができる。

(2) 本時の評価規準

- ・シートを使用した道具の確認、選択作業が行える。
- ・型を使用して曲線の型取りを行える。
- ・電動糸鋸盤を使用し線に沿ってきることができる。
- ・主体的に作業に取り組める。

(3) 本時で扱う教材・教具・機械

道具、材料確認シート、確認作業シート、木型、型紙、練習用の板、鉛筆、消しゴム、タオル入れ、作品箱、材料箱、電動糸鋸盤、電動ボール盤

(4) 児童生徒の実態と本時の目標 略 *表中[A] [B] [C]は、9単元の評価規準のABCに対応する

(5) 本時の学習過程

時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点及び支援のてだて等	評価規準
5分 導 入	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶、出席確認をする。 ・呼びかけに返事、もしくは挙手をする。 ・本日の予定を知る。 ・目標、取り組み内容の確認をする。 	<p>授業の始まりを意識する。</p> <p>板書内容を見て、本時の授業の流れや取り組み内容を確認し、見通しを持つように促す。</p> <p>※説明時は前を向くように促す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・出席確認に、返事や動作で応じている。[A] ・作業の予定、説明を定められた場所で聞いている。(注目している) [A]
40分 (5分) 展 開 (30分)	<ul style="list-style-type: none"> ・シートを使用して道具の確認、選択作業を行う。 板書内容を見て作業の説明を聞く。 作業①の説明を聞く。 作業①を開始する。 作業①をストップする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・班ごとに各自で確認シートを使用して道具や材料の選択、確認を行うよう促す。(3班は道具セットを取りに来て、教員と確認作業を行うように促す。) ※道具、材料の有無を確認をして、シートをチェックしているか、道具等が揃っているか教員が確認してまわる。 ・具体物を提示し、手本を見せながら作業の説明を行う。 ※ひとつの作業に対してひとつの説明をして作業に入るように進める。 作業中は、必要に応じて個々に作業 	<ul style="list-style-type: none"> ・確認シートを使用して道具の確認、選択作業をしている。(ひとりもしくは教員と) [B] ・確認シートを使用して機械を手順通りに操作している。[B] ・挨拶、説明、作業(開始、終了)、掃除と場面ごとの切り替えをしている。[B] ・型を使用し線を引いたり、印をつけたりすることができる。(ひとり、もしくは教員と) [C] ・電動ボール盤を操作し、印をつけた個所に穴を空けること

(7分)	<p>作業②の説明後、開始。</p> <p>作業②をストップする。</p> <p>作業③の説明後、開始。</p>	<p>方法のアドバイスや支援を行うようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各班ごとに十分に課題に取り組めたことを見計らい作業を止める。 <p>※説明時は各席に戻り説明を聞くように言葉かけをする。</p> <p>作業②、③ともに上記の内容を繰り返すようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業終了5分前に終了時刻を告げる。作業終了を呼びかけ、片付けと 	<p>ができる。(ひとりもしくは教員と) [C]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電動糸鋸盤を操作し、線に沿って切ることができる。(ひとり、もしくは教員と) [C] ・機械の操作方法を理解している。[C] ・作業中は作業場所を離れず集中して取り組んでいる。[A] ・片付け、掃除に参加している
	<p>作業を終了する。</p> <p>班ごとに片付け、掃除を行う。</p>	<p>掃除を始めるように促す。</p> <p>※汚れている個所を中心に行うよう告げる。</p>	<p>[A]。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的に作業に取り組もうとしている。[A]
3分 ま と め	<p>本日の作業の振り返りを行う。</p> <p>次回の予定</p> <p>終わりの挨拶をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今日のがんばったポイントを全員に告げ、次回の作業内容を、具体物を見せて伝える。 ・作業の終わりを意識するように促す。※タオルを首にかけたり、手に持ったりしないように指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作業の予定、説明を定められた場所で聞いている(注目している) [A]

(6) 教室配置等 略

*備考

◇当該教科・領域の年間指導計画 略

◇板書計画(表)

月 日	きょう さぎょう 今日の作業	さくひん 作品づくり ③ (カスタネット)	10:30 § 11:20
	もくひょう!	さぎょうのないよう	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・せんにそってきる ・きれいにかたをとる </div>	<p>① まる○をきる(ふくしゅう)</p> <p>② かたどり、きりとり</p> <p>③ あなあけ、けずり</p>	

◇板書計画（裏）

		さぎょう 作業のせつめい	
①	ふくしゅう	→	・いとのをつかい、まる○をきる
②	かたどり きりとり	→	・かたをつかい、カスタネットのかたをとる。（しるしもつける） ・いとのをつかい、せんにそってきりとり。 ※(①のいた(うすい) → ②のいた(あつい)のじゅんばんできる)
③	あなあけ けずり	→	・ボールばんをつかい、あなをあける。 ・ベルトサンダーをつかい、②のいたをけずる